

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：アフガニスタン

日付：2021年3月24日

報告書名：平成31年度日本NGO連携無償資金協力 完了報告書

平成31年度日本NGO連携無償資金協力 完了報告書

事業名	子どものための図書館普及に向けた基盤整備事業（第1年次） Development Project for Diffusion of “Library for children” in Afghanistan	
事業対象地	アフガニスタン カブール市およびナンガハル県	
事業期間	2020年1月26日～2021年1月25日	
公的資金種別	平成31年度 日本NGO連携無償資金協力	
総支出額	総支出：約96,254,710円	
プロジェクト目標および、その達成度	「アフガニスタンにおいて、図書館施設を利用した子どもへの教育サービスの質が向上する」を目的にこの事業を実施した。複数年度事業の1年目の目標としては、「1館のモデル図書館が学校に建設され、管轄省庁や教員養成校の教員が図書施設を通じた教育サービスの普及に向けた研修を受けている。」と設定し、1館のモデル図書館が大規模小学校に建設された。また、管轄省庁や公共図書館員、教員養成校の教員計10人が、対象地における子どものための図書館サービスの認知と促進を担うマスタートレーナーとして選出され、子どものための図書館サービスへの理解を深めた。	
実施内容 概要	(1)学校図書室の普及のための基盤強化 教育省、対象県教育局、教員養成校より計6人のマスタートレーナーを選出し、研修を実施した。また、学校図書館ガイドラインの草稿を作成した。そして、カブールの大規模女学校（小・中・高）にモデル図書館1棟を建設した。冬季休暇明けの2021年4月より本校児童5,726人と教員170人による図書館の利用を予定している。さらに、図書館活動啓発キャンペーンとして、ラジオを通じたおはなし読み聞かせと、学校を拠点とした移動図書館活動を実施し、延べ3,134人の児童が参加した。	受益者数 延べ9,036人
	(2)情報文化省管轄の子ども図書館整備 情報文化省・局、公共図書館より計4人のマスタートレーナーを選出し、研修を実施した。また子ども図書館員育成マニュアルの草稿を作成した。	
成果	成果1. 学校図書室普及のための基盤が強化されている。 <u>指標1-1：配布された学校で、マニュアルやガイドラインが有効活用されている。</u> 実績：マニュアル・ガイドラインが未完成であり未達成 <u>指標1-2：TTC 学校が、図書館普及のモデル校として、機能している。</u>	

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：アフガニスタン

日付：2021年3月24日

報告書名：平成31年度日本NGO連携無償資金協力 完了報告書

	<p>モデル図書館の利用者数と貸出図書数 実績：1年目の指標設定なし</p> <p><u>指標1-3：2年次3年次のコンサルテーション会議にて、学校図書室に対する改善点が提案されている。</u> 実績：1年目の指標設定なし</p> <p>成果2. 情報文化省管轄の子ども図書館が整備されている。 <u>指標2-1：学校にいけない子どもたちが、アクセスできる教育の機会がある。</u> 月あたりの延べ利用者数 実績：1年目の指標設定なし</p> <p><u>指標2-2：</u> <u>情報文化省・局が組織的、財政的に子ども図書館を運営できている。</u> 図書館運営に関して研修を受けた人員が配置されている。 図書館運営に関する政府財源が確保されている。 1年次：30% 実績：1年次：10%</p> <p>情報文化省・局、公共図書館より計4名が子ども図書館の整備を担うマスタートレーナーとして選出され、図書館運営に関する一部研修を受けた。子ども図書館の運営に関わる人員の本格的な育成は2年次以降を予定している。また、図書館運営に関する政府財源の確保に向けた本格的な調整も2年次以降を予定している。</p>
課題と対応策	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、アフガニスタンの学校及び全教育施設は3月中旬～9月まで閉鎖となった。そのため、コロナ禍でも可能な図書館啓発キャンペーンとして、ラジオを通したおはなし読み聞かせを行った。</p> <p>また、都市部ではロックダウンが行われ、都市間の移動にも制限がかかった。管轄省庁の出勤・業務体制の変更による管轄省庁職員の活動への参加が難しくなる等、本事業全体において活動制限や遅れが発生した。そのため、状況に応じて研修実施形態を変更して実施していく。</p>